

第 3 学年	教科名	社会	名張市立赤目中学校 2025年
--------	-----	----	-----------------

○ 学習のねらい

- ・積極的に授業に取り組むことで、社会科に対する興味関心を高める。
- ・社会科における基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせる。
- ・自分の見方や考え方を深め、物事を多面的・多角的にとらえられるようになる。
- ・様々な資料から必要な情報を読み取り、まとめることができる能力を身に着ける。
- ・考察や知識理解を通し我が国の国土と歴史に対する愛情を養う。
- ・日本の諸地域における様々な条件から、地域的特色について理解する。
- ・それぞれの時代の背景を理解し、時代の特色を表現する。
- ・公民的事象への理解を深め、政治や経済、憲法について基本的な知識を身に着ける。

○ 学習の仕方

使用教材	教科書 歴史 日本文教出版 中学社会 歴史的分野 公民 日本文教出版 中学社会 公民的分野 副教材 歴史 浜島書店 つながる歴史 公民 東京法令出版 ビジュアル公民	もちもの	教科書 ノート 資料集 ワーク ファイル タブレット
学習の進め方	<授業> ○授業に集中して取り組む。 ○教科書を中心に、資料集や視覚教材を用いながら授業を進める。 ○授業中の発問に積極的に挙手を行う。 ○授業中の話し合い活動やグループワークに積極的に参加し、意見の交流を行う。 ○課題や発問に対して自分の意見を持ち、発表を行おうとする。 ○教師の話聞き、重要と感じたことをノートに記述する。 <定期テスト> ○毎回のテスト範囲で、その期間内に行った授業を中心に内容を復習する。 ○ワークで該当範囲の問題に取り組み、わからないところは調べる。 ○教科書やノートで重要語句や資料の確認を行う。 ○何度もワークに取り組むなどして、基礎的な語句等を覚える。 <家庭学習> ○教科書で重要語句の意味の確認をする。 ○時代背景や流れについて、教科書の文章をよく読み、理解する。 ○問題集などに取り組み、語句や資料問題に取り組む。 ○その日の授業の復習やまとめ、わからなかったことをまとめる。 ○新聞を読み、社会の出来事について関心を持つ。 ○ニュースや新聞の記事の内容に対して、自分なりの意見を考える。		

				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試 験	評 価 観 点		評価の場面・方法
1	4	日本の近代化 2 度の世界大戦と日本	中 間	知 識 ・ 技 能	・社会科における基礎的・基本的な知識を身につけ、理解している。 ・グラフや地図に関して、基礎的・基本的な地理的技能を身につけ、活用することができる。 ・日本の地域的特色や地域的課題を理解している。 ・資料や地図から目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。 ・社会科における課題について、その原因を追究したり、課題解決に向けた考察を行ったりして、自らの考えをまとめることができる。	・授業観察 ・チャレンジ ・小テスト ・定期テスト など
	5	現代の日本と世界				
	6	私たちと現代社会				
	7	個人の尊重と日本国憲法				
	2	9	中 間	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	・社会的事象に対して、多面的・多角的に考察を行い、自身の意見の根拠となった事由を論理的に説明できる。 ・意見の交流を通じて、自分とは異なる考えに触れ、そこからさらに社会的事象に対する理解を深め、さらなる意見の発展につなげることができる。 ・ノートに自分の意見をまとめ、その考察を行うことができる。	・定期テスト ・ノート点検 ・グループ活動 ・授業観察 など
	10	私たちの生活と経済				
	11					
	12	私たちと国際社会				
3	1	私たちの課題	学 年 末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	・授業に集中して取り組むことができる。 ・授業中に積極的に挙手・発表を行うことができる。 ・ノートを見やすくまとめ、自身の意見を考えたり、学習意欲を向上させたりすることができる。 ・授業の予習や復習、まとめを行い、自身の学力向上につなげることができる。	・授業観察 ・ノート点検 など
	2	受験対策 1～3 年の復習				
	3					